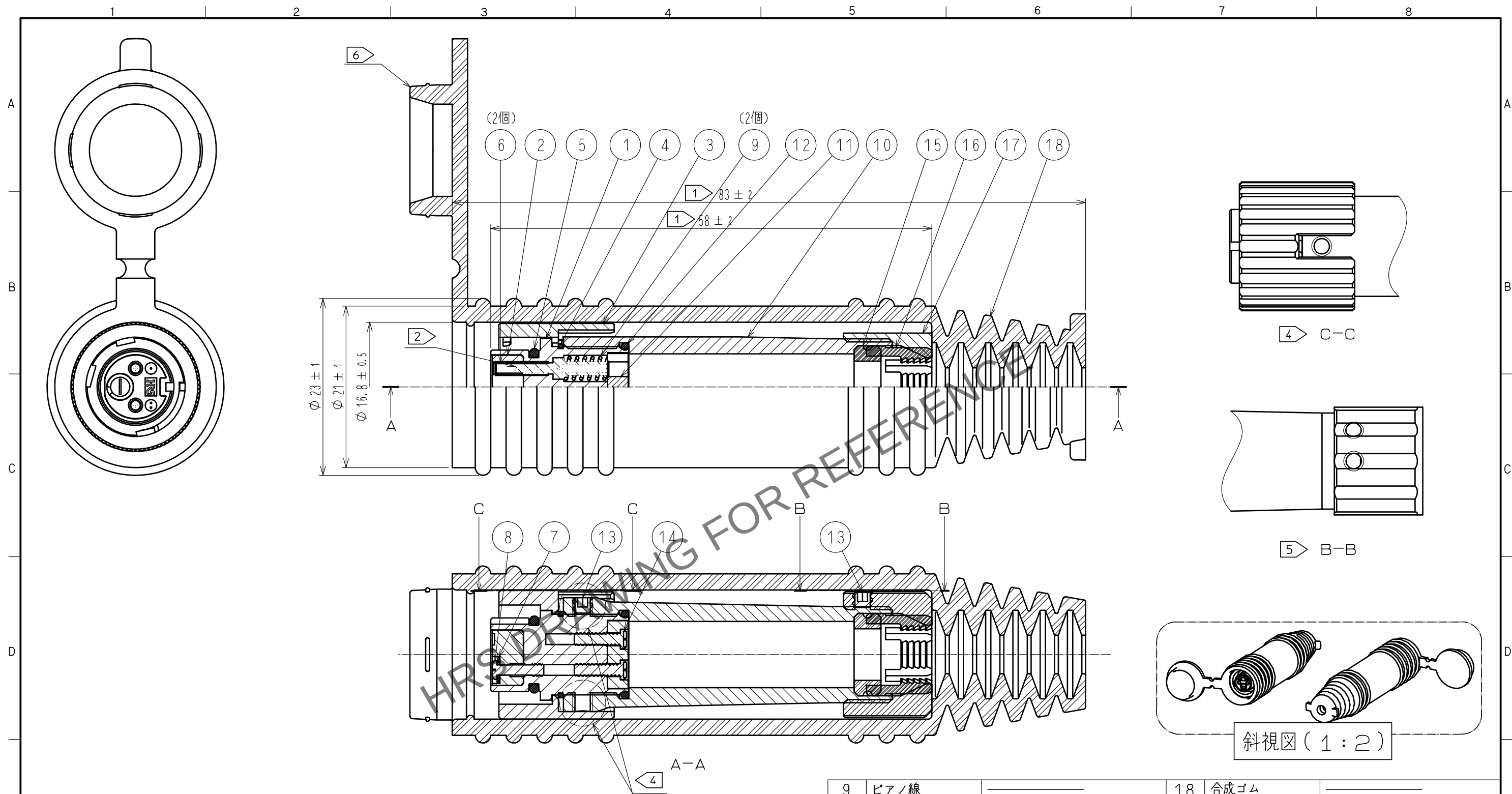




- 注 1 この寸法はケーブルにアッセンブリした時の寸法である。
- 2 フェルールは含まれない。別売りのMU用フェルールを使用のこと。
- 3 本コネクタ嵌合時は、部番18（コネクタフード）を後部にずらして部番3（スリーブ）がむき出しの状態で行って下さい。
また、レセプタクルとの嵌合後は、部番18（コネクタフード）をレセプタクルに突き当たるまで被せて下さい。
- 4 部番10（コードカン）には、部番13（六角穴付き止めネジ）が止められるネジ穴が2箇所ありますが、C-C断面のように部番3（スリーブ）のスリットの隙間からネジ穴が見えて、部番13（六角穴付き止めネジ）が止められる方の1箇所のみを固定します。
- 5 部番17（締付リング）には、部番13（六角穴付き止めネジ）が止められるネジ穴が2箇所ありますが、部番10（コードカン）のネジ部が見える方（両方ネジが見えている場合は任意）の1箇所のみを固定します。
- 6 本コネクタ単体時には、部番18（コネクタフード）を部番17（締付リング）に突き当たるまで被せてキャップをして下さい。
- 7 フェルール端面をクリーニングする際は、部番8（胴引きスリ割りネジ）を回して緩め、部番8（胴引きスリ割りネジ）を引張って部番2（PシェルB）のプリアッセンブリ品を取り出して下さい。
次に、別売りのワリスリーブ抜き取りジグを使用して部番6（ワリスリーブ）を取り出し、フェルール端面をクリーニングして下さい。
クリーニング後は、部番2（PシェルB）のザグリ部に部番6（ワリスリーブ）を嵌めて、部番1（PシェルA）に嵌め込み、部番8（胴引きスリ割りネジ）をネジ止めして固定させて下さい。

9	ピアノ線		18	合成ゴム	
8	ステンレス鋼		17	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
7	ステンレス鋼		16	合成樹脂	
6	ジルコニア		15	合成ゴム	
5	合成ゴム		14	ステンレス鋼	
4	ステンレス鋼		13	ステンレス鋼	
3	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ	12	合成ゴム	
2	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ	11	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
1	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ	10	亜鉛ダイカスト	ニッケルメッキ
部番	材 質	処 理 , 備 考	部番	材 質	処 理 , 備 考
UNITS mm		SCALE 2 : 1	訂 正 記 事	設 計	検 図
		承認 : MT. SHIBUTANI	18.03.28	図番 : ADC-176711-32-00	
		検 図 : MT. SHIBUTANI	18.03.28	製品名 : MF10B-WP6.5C01-0200(32)	
		設 計 : SI. MATSUMOTO	18.03.28	製品コード : CL709-1004-1-32	
		製 図 : SI. MATSUMOTO	18.03.28		
				1	1